

生学文第425号
高教第953号
義教第1314号
平成30年5月30日

各都道府県
私学振興担当課長 様

福井県教育委員会教育長

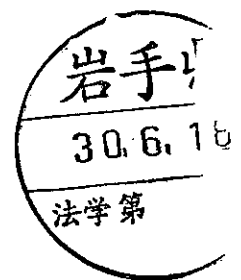
第6回白川静漢字教育賞の実施について（依頼）

この度、漢字文化の振興に寄与された福井県出身の白川静博士を顕彰し、全国において新しい漢字教育を実践している教員等を表彰する第6回「白川静漢字教育賞」を別添実施要項のとおり実施しますのでお知らせいたします。

白川静博士は、明治43年、福井県に生まれ、甲骨文字や金文など草創期の漢字の成り立ちを深く系統的に研究して、「字統」「字訓」「字通」の刊行をはじめ、多くの学問的業績をあげ、平成16年に文化勲章を受章されました。

福井県では、白川博士の「東洋の文化として漢字を尊重し次世代に継承したい」という意思を受け継ぎ、平成25年度から、新しい指導法や特色ある教材で、漢字教育に成果を上げている教員等を表彰しているところです。

つきましては、私立小・中・高等学校など関係機関に周知くださいますとともに、積極的な御応募をいただきますよう御協力をお願い申し上げます。



問合せ先
福井県教育庁 生涯学習・文化財課
白川静漢字教育賞 担当 代継 養輪
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL:0776-20-0559 Fax:0776-20-0672
E-mail: syoubun@pref.fukui.lg.jp

第6回（平成30年度）白川静漢字教育賞実施要項

福井県では、『字統』『字訓』『字通』の字書三部作を著す等、漢字文化の振興に寄与された本県出身の白川静博士を顕彰し、特色ある漢字教育を実践している方や、新しい教材を開発し漢字文化の普及に貢献した方を全国から公募。表彰する「白川静漢字教育賞」を実施し、漢字教育・国語教育や漢字文化の発展を図ります。

1 対 象

新しい指導法や特色ある教材によって、継続的に漢字教育を実践し、成果および努力が認められる個人および団体

（対象となる活動内容）

- ・ 漢字に関する能力向上を目的として、学校や社会教育で行われる漢字教育実践
- ・ 漢字文化の普及に向けた教材（映像、デザイン等）や作品（書作品、演劇、文芸等）の制作発表等

2 応募方法

① 申請書（様式1）

② 実践報告書（様式2）

以上、2点の提出

※福井県のホームページからダウンロードできます。（「白川静漢字教育賞」で検索）

※応募後の審査状況や選考結果に関するお問い合わせには応じられません。

※添付いただきました資料はお返しいたしません。ただし、返却を希望される方には表彰式後に返却いたします。

3 応募締切

平成30年9月14日（金） 消印有効

4 選考委員（敬称略）

棚橋 尚子 （奈良教育大学教育学部教授）

加藤 徹 （明治大学法学部教授）

後藤 文男 （立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員）

遠藤富美夫 （福井新聞社論説委員長）

東村 健治 （福井県教育委員会教育長）

5 表 彰

最優秀賞 副賞5万円

優秀賞 副賞1万円

6 表彰式および実践発表

平成30年11月21日（水）

お問い合わせ

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県教育庁生涯学習・文化財課

TEL:0776-20-0559 Fax:0776-20-0672

Email:syoubun@pref.fukui.lg.jp

主催 福井県・福井県教育委員会 協賛（書籍提供） 株式会社 平凡社 株式会社 太郎次郎社エディタス

第5回 (平成29年度) 白川静漢字教育賞

最優秀賞

福井県 福井市豊小学校
教諭 中谷 幸子 氏



小学校での授業実践
「低学年における手作り漢字カルタを使った漢字学習」

- 1 漢字カードを作る
「楽しい漢字学習」の活用
- 2 手作り漢字カルタで遊ぶ
友だち・親子で漢字カルタ
- 3 手作り漢字カルタで文作り
漢字の形を重視したカルタから使い方を重視した漢字カルタ
- 4 「楽しい漢字学習」を使った文作り
2年生「きせつの漢字のひ・み・つ」
- 5 漢字カルタで熟語作り
古代文字で漢字クイズ

評価のポイント

児童一人一人が、既習漢字をカードに書いて自分の「漢字カルタ」を作った。その手作りカルタを使って、友達との熟語作りや親子での神経衰弱ゲームを行う等、楽しみながら取り組める実践である。遊びの要素のある実践で陥りがちな、遊びで完結する実践ではなく、低学年の児童の意欲を上手に引き出しながら、話したり文や熟語などを書いたりする活動につなげている点が素晴らしい。

優秀賞 愛知県 小牧市立小牧南小学校 教諭 丹羽 典子 氏

母語が日本語ではない児童生徒に向けた漢字学習における実践

- 1 音の出る漢字カードの作成と実践
母語（北京語、広東語、英語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語）と日本語の音訓、文章等音の出る漢字カードを作成し母語が日本語でない児童生徒の漢字学習に活用
- 2 なぞりがきワークの作成と実践
画数の少ない似た形の漢字から無理なく学習できるワークを作成し漢字学習に活用

評価のポイント

初等教育の途中で、母語が異なる児童への実践である。音声ペンでタッチすると、それに対応する漢字の音、訓、文章の音が出る漢字カードを開発した。多くの母語を扱い、今後ますます増えるであろう日本語指導を必要とする小中学生が、早期に日本の学校に慣れるための取り組みである。受賞者は、漢字教育について精力的に活動しており、実践自体は有益なものだと考える。

特別賞 東京都 早稲田大学教育・総合科学学術院 講師 財前 謙 氏

漢字教育における混乱解消を目指した活動

- 1 漢字教育改善に向けての著書の執筆
『手書きのための漢字字典』『新常用漢字196』等手書きの楷書と印刷文字（明朝体）を併記し、その違いや許容と誤りとの境界を明示
- 2 雑誌・新聞等への寄稿による漢字教育改善に向けた啓蒙広報活動
『字体の擾乱～楷書と印刷文字との揺れをめぐって～』手書きの楷書と印刷文字との相違の問題を具体例を示しながら解説

評価のポイント

全常用漢字、手書きの楷書と印刷文字（明朝体）とを、各字ごとに列記し、かつ許容と誤りの境界を示す字典を作成した。また、手で書いてきた楷書と印刷文字との相違はどこに問題があるのかを、雑誌・新聞等で具体的に例を示しながら論じた。これらの活動は、「漢字を手書きする」ことへのこれまでの概念に一石を投じたといえる。この提言は、文化審議会国語分科会の報告である『常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）』（平成28年2月）の一助ともなった。今後の漢字教育の発展に大きく寄与するものであると思われる。

効果的な漢字の指導法のほか、教材や書、文芸作品の制作や発表などの実践を募集します。

1. 対象

- 新しい指導法や特色ある教材によって、継続的に漢字教育を実践し、成果および努力が認められる個人および団体（対象となる活動内容）
- ・漢字に関する能力向上を目的として、学校や社会教育で行われる漢字教育実践
 - ・漢字文化の普及に向けた教材（映像、デザイン等）や作品（書作品、演劇、文芸等）の制作発表等

2. 応募方法

- ①（様式1）申請書
 - ②（様式2）実践報告書
- 以上2点の提出
※福井県のホームページからダウンロード可
（「白川静漢字教育賞」で検索）
※添付いただきました資料はお返しいたしません。
ただし、返却を希望される方には、表彰式後に返却いたします。
※応募後の審査状況や選考結果に関するお問い合わせには応じられません。

3. 選考委員

柳橋 尚子（奈良教育大学教育学部教授）
加藤 徹（明治大学法学部教授）
後藤 文男（立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員）
遠藤富美夫（福井新聞社論説委員長）
東村 健治（福井県教育委員会教育長）

4. 表彰

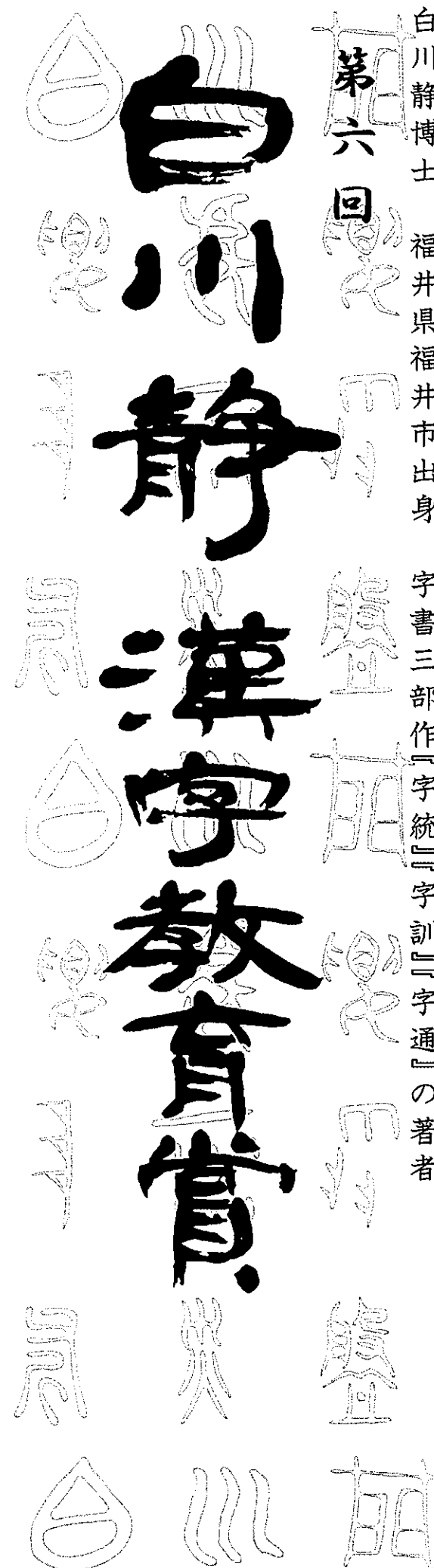
最優秀賞 副賞5万円
優秀賞 副賞1万円

5. お問い合わせ

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
福井県教育庁生涯学習・文化財課 白川静漢字教育賞係
Tel: 0776-20-0559 Fax: 0776-20-0672
E-mail: syoubun@pref.fukui.lg.jp

応募締切：平成30年9月14日(金)(消印有効)
表彰式および実践発表：平成30年11月21日(水)

【主催】福井県・福井県教育委員会 【協賛】(株)平凡社・(株)太郎次郎社エディタス



白川静博士 福井県福井市出身 字書三部作『字統』『字訓』『字通』の著者

FAX の場合送信票は不要

様式 1

福井県教育庁生涯学習・文化財課 白川静漢字教育賞担当 行
TEL : 0776-20-0559 FAX : 0776-20-0672 E-mail : syoubun@pref.fukui.lg.jp

白川静漢字教育賞申請書 提出日： 年 月 日

(フリガナ) 氏 名 生 年 月 日	男・女 年 月 日 生 歳		
所 属 等	TEL		
現 住 所	(〒 -)		
連絡先電話番号		E-mail	
実 践 の 概 要	実践内容 (○を付けてください) ・漢字教育実践 ・普及に向けた教材や作品の制作や発表		
	実践対象 (○を付けてください) ・学校教育 (小学校・中学校・高等学校・特別支援学校) ・社会教育 ・その他		
	詳細は別紙実践報告書に記入		
	(どちらかに○を付けてください) ① 資料の添付 有 ・ 無 ② 有の場合、返却を 希望する・希望しない		
職 歴 お も な 活 動 歴			
受 賞 歴			

この賞について何でお知りになりましたか？○を付けてください。(複数回答可)

- ・チラシ ・HP ・知人の紹介
・研究会 (名称) ・その他 ()

受付番号

体裁 A 4 版 縦 4 ページ以内
見出し ゴシック体 または太字
本文 明朝体 10.5 ポイント以上、グラフ、表、写真等の挿入可

様式 2

白川静漢字教育賞実践報告書

1 目的・ねらい

2 実践の内容

※実践日を明記してください。
※1～3つの実践例をご報告ください。

3 実践の成果

※できるだけ具体的にご記入ください。

必要に応じて資料等を添えてご提出ください。なお、添付いただきました資料はお返しいたしません。ただし、返却を希望される方には、表彰式後に返却いたします。